



昼夜の寒暖の差はありますが、お食の不思議かな(陽気が春を感じさせてくれます。

さて、矢日(ひなまつり)集会があり、木彌(=飾られた)ひな壇飾りに興味津々の子ども達。ひなまつりの製作では、お雛様やお内裏様の顔を描くと「目はここかな? 口はここかな?」と自分で「考えながら」描きましたが、鳥帽子や冠、角も、鶴を作る作業では「どちらか上か下か迷ってはうう」と上下迷 ragazzoに貼ってはううも見られました。保育者が「違うよ。見てごらん」と伝え、気付くと貼り直し、出来た作品を嬉しそうに見せています。反対して「見て、○○ちゃん。」と自分の作品を自慢気に見せ、「可愛いね。△△のも見て。出来たよ。」など「作った喜び」を共感する事があり、和達(保育者)もほほえましく思ひながら様子を見ています。

また、進級に向けて給食後の歯磨きやハサマへの着替え・伊賀ローラ・ジョンへの参加口と「たくさんのこと」に挑戦し、元気張っています。◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

歯磨きでは、「さあ、先生の真似っこで歯と磨こうね」と伝え、前で磨く動作になると真剣に見つめるものの歯に歯ブラシが当たることなく磨く子もいれば、一生懸命すます腕が上下に大きく動いて磨きすらしている子どももいます。慣れてくると「先生、こう」と聞いたり、「どうじでないよ。こうやって磨くんだよ。」とお友だちに教えてあげたり、上手に磨く姿と保育者に見せようとする様子もあります。◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

進級まで残り物が少くなりはじめオレミシヤーニーに期待を込めて生活ねる子ども達を引き続き見守っています、子ども達が

自信を持った生活を送れるように保育していきたいです。

